

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和4年6月号



2022.6.4 和リンピック開催!

笑顔で

全力を楽しみました!

1名の欠席者もなく、文字通り「全校」が集まった和リンピック。「運動会っていいなあ。全校が集まって、一つのことに取り組むって、いいなあ。」改めてそんな思いを感じました。

短距離走・かけっこではゴールまでしっかり走りきろうと歯を食いしばり、ダンス・集団演技では、友達と気持ちを合わせ、友達の動きを確かめながら自分たちの思いを表現しようとしていることが伝わってきました。

学年種目では、自分の役目を果たしながら、友と支え合っている姿が見られましたし、全校で取り組んだ大玉送りでは、みんなで力をあわせることの楽しさ素晴らしさを味わうこともできました。

応援や係活動も含めて、それぞれの場所で、それぞれに生き生きと躍動する児童一人一人が、運動会スローガン「笑顔～全力を楽しもう～」の姿そのものだったと感じます。

コロナ禍ということもあり、この和リンピックでは「日頃の体育学習の延長」という趣旨を大切にしてきました。そのため、特別時間割も運動会前の1週間のみでしたが、当日は、児童それぞれの創意工夫が随所に生きた競技・演技をご覧いただけたと思います。

5・6年生の集団演技「虹」では、練習時から児童代表が前に立って練習をリードしました。「“教師がさせたいもの”ではなく“子どもたちがやりたい”ものにしたかった。」指導を進めた担任の職員の言葉です。今後も、和小学校は、児童の「学び」を軸にした教育活動を力強く進めていきたいと思っています。

大豊作だったね！～3年生「玉ねぎ収穫」～



1日、農村支援センター和地区推進委員会の方々に来ていただき、玉ねぎ収穫を行いました。子どもたちは、土から出てきた玉ねぎの大きさに「でかーっ！」と大興奮。最初は慎重に作業しましたが、すぐに慣れて、手際よく作業を進めました。

「全員が収穫を経験できるように、一人でたくさんぬかないようにね。」という先生の注意

を守り、自分の担当をぬき終わると、友だちと自然に役割を分担したり、遅れて参加した友だちのために、ぬかずに残しておいて「こっちだよ。」と呼んであげたりと、3年生なりの友だちへの気遣いに感心させられました。



永井農場の皆さんよろしくお願いします！～5年生米づくり～



5月30日には代かきの見学、6月8日には田植えを行いました。今年は代かきをする前の田んぼで思い切り泥遊びを楽しみ、広い田んぼでしかできない特別な体験をさせてもらいました。8日は、永井農場の若手の皆さんにお手伝いいただきながら田植えをしました。5年生全員が一列に並び、張っていただいた紐に合わせてできるだけそろえて植えるよう頑張りました。様子を見ていた永井さんからは「今年の5年生は仲がよくてチームワークもいいね。」という言葉いただきました。お手伝いし

てくれた方々の中には、和小有出身の方もいて、その方は5年生の時に田植えを経験し、「ぜひ農業の道に進みたい！」と志したのだそうです。この5年生の中にも、将来そんな思いを抱いてくれる子がいるかもしれません。

1時間ほどかけて田んぼの半分の田植えを終えると、残りは最新型GPS機能内蔵の機械での田植えを見せていただきました。「これから、しっかり田んぼの管理をしていきます！」という約束をし、最後はみなさんと記念写真を撮影しました。



ぶどう栽培体験スタート～6年生が房切り作業に挑戦～

10日に、6年生が東上田多面的機能保存会の方々に教えていただきながら、巨峰の房切り作業を行いました。説明を聞いた段階では「意外と簡単そう？」と思えたようですが、いざ作業をしてみると、たまに大事な部分を切り落としてしまったり、実の位置が手を入れづらい場所で苦労したりしている様子が見られました。そのように、最初はなかなか難しいところがありましたが、保存会の方々に丁寧に教えていただいた上に、今年度は「作業経験あり！」という心強い友だちが5～6名いたので、お互いに教え合いながらどんどんコツをつかんでいくことができたようです。





「田植えは機械でできたけど、ぶどう栽培は機械じゃできないな…」と昨年度の米づくりとの比較からの気づきもあり、あらためて、いつも食べているぶどうには、栽培する方々の多くの努力や苦労が詰まっていることを実感していました。

この作業の後、家で同じ作業のお手伝いをした子もいるようで「保存会の方に教えてもらったやり方でお手伝いしたら、『そういうやり方もあるんだね！』と驚いてたよ。」と担任に報告してくれました。子どもたちからは「次の作業が楽しみ！」という言葉が多く聞かれました。

大事に大事に育てています！～2年生栽培活動～



10日、2年生が大豆の種まきを行いました。3年生の玉ねぎ収穫と同様、和地区の農村支援センターの方々にやり方を教えてもらいました。ペットボトルを土に刺し、できた穴に2粒ずつ種を蒔きました。

一週間後、初めて蒔いた大豆の様子を見に行きました。みんなタブレットを準備し、ワクワクしながら、畑に向かいました。道路を渡り終えた瞬間、小走りに自分が種を蒔いたあたりの場所にまっしぐら。「芽が出てるかな…。」「どこだろう…。」小さな草も生えていたので、最初はちょっと迷いましたが「あー、あった！」という声が。「土が割れてる！」

「割れてる中に芽が生えてるよ！」とみんな大喜びで写真をパチリ。嬉しそうに私たちにを見せてくれました。「すごいなあ。種が土を割ったんだ。強いなあ。」そんな呟きが聞かれました。小さな芽の姿から2年生のみんなは「大豆の生命力の強さ」を感じていました。

2年生は、大豆栽培だけでなく「一人一苗栽培活動」にも取り組んでいます。自分が育てたいと思った苗を決めて、自分達で買ってきた苗です。脇芽を摘むときも、「痛いこととしてごめんね…」と心の中で謝っているのでしょうか。何とも言えない切なそうな表情で、脇芽を摘みながら、タブレットを使って成長の記録を残しています。

土や植物に触れながら、命の大切さや尊さを学んで言ってほしいと思います。



わたしがママだよ！ぼくがパパだよ！～1年生アサガオの種まき～



1年生は、アサガオの種を蒔きました。植木鉢の四隅に指で穴を空け、「さくらちゃん」「きららちゃん」「ぴんくちゃん」などなど、1つ1つに可愛い名前をつけた種を丁寧にまきました。翌日からはみんなアサガオのパパとママです。「赤ちゃんにお水をあげなきゃ！」とみんな教室に入るとすぐに水やりをしています。中には、「ミルクの時間ですよ～」と声をかける子もいます。「〇〇ちゃんが芽を出した！」「◇◇ちゃんこんにちわ！」と芽を出した日は大喜びでした。

生活科、図工、算数などアサガオちゃんたちと一緒に学び、成長していく1年生の姿もとっても楽しみです。



生活を支える「水」の学習～4年生菅平ダム見学～



20日に4年生の菅平ダム見学がありました。出かける前に菅平ダムに関する動画を視聴し、事前学習をしました。これから実際に見に行くダムがサッカーコート1800個分の大きさであること、上田地域の「農業用水」「飲料水」の源であること、昭和43年のダムの完成により、夏の水不足の解消や農作物栽培の発展につながったことなどを学びました。また、環境に優しい水力発電も行われ、自分



たちが生活していく上で欠かせない電力が生み出されていることを知ると、「ダム」というものがグッと身近なものに感じられたようでした。

その後、和太を出発し、山道をバスに揺られて菅平ダムに到着。子どもたちがまず驚いたのは、目の前に広がるダムの巨大さでした。映像では感じられなかった迫力、5月に金原ダムを見学している4年生には「同じダムでも大きさが全然違う…」とそのスケールの大きさに心奪われていました。いよいよ今回の見学のメイン「潜入！ダムの中」のスタートです。外から見た姿とは反対に、狭く暗い階段を100段以上降り、子どもたちはダムの底へと進んでいきました。めったにできない貴重な体験を満喫した子どもたちでしたが、最後に「階段上り」という試練が待ちっていました。しかし、さすがは4年生「つかれた～」「まだ登るの～」とくじけそうな友だちを励ましなが、無事、地上に帰ってきました。引率の職員も子どもたちにいっぱい励ましてもらったようです。



職員も学び続ける～職員救急救命法実技講習～



長野県赤十字救護隊東信方面隊隊長の臼田映三郎先生を講師に実施しました。臼田先生は、様々な場所で起きている災害に救護隊として出向いており、その経験を踏まえた多くの知識を教えてくださいました。骨折かどうかの判断の仕方、脛骨を痛めない傷病者の起こし方、胸骨圧迫時のかいなの返し方、額の擦過傷は頸部損傷の可能性を考える必要があること、直角に胸骨を圧迫するための目線の置き方、男女の呼吸の特徴の違いなどを教わり、とても勉強になりました。私たちは、毎年必ず救命法講習会を受けているので、救命の

ための流れはよく知っているつもりでした。しかし、今回の講習で臼田先生は「なぜ呼吸の確認は10秒間行うのか」「なぜ傷病者の左側から処置するのがよいのか」といった、「なぜそうするのか」を具体的に教えてくださいました。そのため、より集中し、実際の場面を想定しながら、1つ1つの動きのポイントを意識しながら訓練に取り組むことができました。今回学んだことを実践する機会がないことが一番ですが、万が一の事態に、きちんと正しい措置ができるようにしていきたいと思います。



納得いく記録を目指して ～全校新体力テスト～



14日に全校で新体力テストに取り組みました。この日は市役所のスポーツ振興課の方々、地域ボランティアの方々に応援に来ていただき、校庭で「50m走」「ソフトボール投げ」室内で「立ち幅跳び」「反復横跳び」「長座体前屈」の5種目の測定を行いました。

前の週から体育館にはスポーツテストのための練習スペースが設けられており、本番に向けて休み時間には子どもたちが一生懸命練習していました。

低学年にとって1番難しい種目の1つが「ソフトボール投げ」です。担任の先生が一人一人に投げる角度や体の向きをアドバイ

スしたことや、体育館で練習したことが生きたのでしょう。今年度は45度の方向を指さし、空をグッとにらみつけていい角度でボールを投げられる子が増えたように感じました。

他の種目については、この日以降に各学級や学年で測定をしました。「20mシャトルラン」では音楽から遅れかけても歯を食いしばってスピードを上げ、限界まで頑張った後に大の字になっている子も見られました。記録の善し悪しにかかわらず、精一杯チャレンジする子どもたちの姿はとても素敵でした。



コロナ感染にかかわる休業について～再度ご確認ください、ご理解とご協力をお願いします！～

6月に限らず、これまでできる限りの感染防止対策を講じてきましたが、今月の後半から、児童やそのご家族が新型コロナウイルスに感染してしまう事例が増えています。全国的には感染者数が減少傾向であることが伝えられていますが、和小では、感染経路が不明な事例や発熱がなくても感染していたという事例もあり、今現在も「いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない病気であること」を痛感させられています。これからも、場合によっては、学級閉鎖等の措置の可能性がありますので、5月24日にオクレンジャーに添付し、各ご家庭にお知らせした市の基準について、以下に再掲載しました。

先月号でもお願いしましたが、必要以上の詮索はせず、感染したり濃厚接触者となってしまうたりした児童やそのご家族が安心して過ごすことができるようご理解とご協力をお願いいたします。

1 学級閉鎖等について

(1) 学級閉鎖

次に該当する場合に、当該児童生徒の最終登校日から5日を経過するまでの期間を学級閉鎖としますので、対象学級の児童生徒については、特に注意して健康観察をお願いします。

- ・陽性者が1名発生し、その最終登校日から5日を経過するまでに2人目の陽性者又は未診断の風症症状の児童生徒2名が発生した場合
- ・陽性者が1名発生し、5人程度（少人数の学級の場合は10%程度）の濃厚接触者又は濃厚接触者に相当する児童生徒（以下「濃厚接触者等」といいます。）が生じている場合

(2) 学年閉鎖

- ・複数の学級を閉鎖するなど、学年内で感染が広がっている可能性が高い場合は学年閉鎖とします。

(3) 休校

- ・複数の学年を閉鎖するなど、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合は休校とします。

2 学級閉鎖等の対象学級の兄弟姉妹について

学級閉鎖の対象学級の児童生徒であっても、下記3の濃厚接触者等に該当せず、かつ、健康観察に問題が無い場合は、兄弟姉妹の登校を控える必要はありません。

ニャンとおどろきネコ写真 ～校内に隠れた にゃんこを探そう～



新聞やテレビの報道でご存じの方もいらっしゃると思いますが、6月7日～7月8日まで、本校の至る所に、猫写真家・沖昌之さんの猫写真のパネル34点を展示しています。これらのパネルは、2年前に沖さんの写真展を行った丸山晚霞記念館からお借りしたもので、子どもたちがサプライズで出会えるように、運動会の振替休日だった6日に展示作業を行いました。

登校してきた児童は、驚きながらも、大喜びで校内をまわり、3週間たった今でも、お気に入りのパネルの前で友達同士おしゃべりしている姿が見られます。

それぞれの学級では、この展示にあわせて、ワークシートやタブレットを活用しながら、お気に入りの作品の紹介や、猫写真に自分の想像した一言を付け加えて、互いに鑑賞し合う活動を行いました。また、その延長として、パネルと一緒に展示した東御市の地域猫活動の取り組みなどにも関心を寄せて来ている子どもたちもいます。

更に、沖さんご本人から、今回の展示にあわせて、猫写真集5冊を寄贈していただきました。これも子どもたちに大人気で、休み時間中、多くの子が手にしています。沖さんへの御礼の手紙を呼びかけたところ、「猫の写真に『学校がんばれ』と書かれている気がしてワクワクします」と書いてきてくれた子もいて、うれしく思いました。

このパネルは、市内の他校でも展示予定です。



7月の予定

- 1日(金) 安全点検日、低学年参観日
2年生親子ネットリテラシー授業
- 4日(月) 歯の衛生週間(～8日)
- 5日(火) 6年生歴史館見学
学校集金口座振替日
- 7日(木) 高学年参観日
- 8日(金) 4～6年クラブ①
- 11日(月) 4年社会見学(リサイクルセンター)
学校評議員会①
- 12日(火) スクールカウンセラー来校日
教育支援ボランティアの会②
- 13日(水) 地区児童会
- 14日(木) 学期末清掃(～25日)
児童会④
- 15日(金) 金藤選手による6年生水泳指導
- 19日(火) 学期末学級事務期間(～25日)
- 22日(金) 3年生社会見学
- 26日(火) プール納め 1学期終業式
- 27日(水) 夏休み(8/21まで)
- 8/8(月)～17(水)
学校リフレッシュウイーク
- 8/20(土) PTA資源回収
- 8/22(月) 2学期始業式

27日から、プール学習が始まりました。6月の校長講話で、子どもたちには話したのですが、日本のように、それぞれの学校にプールがある国というのは、世界の中でもとても珍しいのだそうです。

各校に設置されたきっかけは、1955年の2つの水難事故だったそうですが、水泳が授業で行われるようになって、水辺での事故に遭う方は着実に減ってきているようです。

とはいえ、一つ間違えると命に関わってしまうのが水辺での事故。学校でも、十分指導は行っていきたいと思いますが、それぞれのご家庭でも、海や川での事故にお気をつけていただくようお願いします。

文責・制作：校長・教頭